クリスティアン・ティーレマン 指揮
ドレスデン国立歌劇場管弦楽団

Christian Thielemann, Chefdirigent **Staatskapelle Dresden**

シューマンの夢幻的で、詩的で、初期ロマン派の精神性の真髄は、
ドレスデン国立歌劇場管弦楽団との演奏で、
より強く、深く感じていただけると思います。

©Matthias Creutziger

＜シューマン：交響曲全曲演奏会［2夜連続］＞

2018年 10月31日(水) 19:00開演 (18:20開場 終演予定21:00)
7:00p.m., Wednesday, October 31. 2018 at Suntory Hall

シューマン：交響曲第1番 変ロ長調「春」Op.38
Schumann: Symphonie Nr.1 B Dur 'Frühling', Op.38

シューマン：交響曲第2番 ハ長調 Op.61
Schumann: Symphonie Nr.2 C Dur, Op.61

11月1日(木) 19:00開演 (18:20開場 終演予定21:00)
7:00p.m., Thursday, November 1. 2018 at Suntory Hall

シューマン：交響曲第3番 変ホ長調「ライン」Op.97
Schumann: Symphonie Nr.3 Es Dur 'Rheinische', Op.97

シューマン：交響曲第4番 ニ短調 Op.120
Schumann: Symphonie Nr.4 d moll, Op.120

サントリーホール 東京メトロ溜池山王駅13番出口徒歩10分　東京メトロ六本木一丁目駅3番出口徒歩5分

シューマン・ツィクルス券 ＜10/31・11/1＞2夜連続公演チケット　S¥57,000　A¥46,000 僅少 (夢倶楽部会員) S¥56,000　A¥45,000 僅少

各公演　S席¥30,000　A席¥24,000 僅少　B席¥18,000 完売　C席¥14,000 完売　D席¥9,000 完売
〔夢倶楽部会員料金　S席¥29,000　A席¥23,000 僅少　B席¥17,000 完売　C席¥13,000 完売　D席¥8,000 完売〕

＊料金には消費税8%が含まれております。＊特別割引料金については裏面をご覧ください。＊ジャパン・アーツ夢倶楽部会員先行発売などで満席になった席種は、以降発売されない場合がございます。

お申込み　ジャパン・アーツぴあ　(03)5774-3040　www.japanarts.co.jp/
サントリーホールチケットセンター　0570-55-0017　チケットぴあ　t.pia.jp　0570-02-9999 ＜Pコード：109-664＞
イープラス　eplus.jp　ローソンチケット　0570-000-407 ＜Lコード：34145＞

主催：ジャパン・アーツ　後援：ドイツ連邦共和国大使館

ドイツと日本 Zukunft gestalten ともに未来へ

【シューマンとドレスデン国立歌劇場管弦楽団とのかかわり】

かつて、このオーケストラの首席指揮者であったシノーポリは、亡くなる直前に同団と、シューマンの交響曲第1番「春」を指揮しました。

第2楽章をリハーサルしている時、「死」を思わせる話をしたことが、今でもオーケストラの中で語り草になっているそうです。

それからしばらく、シノーポリを偲ぶ記念コンサート以外では、ティーレマンもこのオーケストラとはシューマンの交響曲を演奏していません。

ティーレマン自身にとってもシューマンは、ワーグナーやブルックナーに着手するよりも前から手がけていた大切なレパートリーであり、今回ようやく実現する【シューマン：交響曲全曲演奏会】にかける思いは、とても強いものがあります。

ドレスデン ～ シューマンの街、シューマンのオーケストラ

舩木篤也 ― 音楽評論

いささか唐突だが、あなたの最も愛してやまない交響曲はなんだろう？　筆者の場合は、シューマンの第2番ハ長調。これ以上に美しい音楽はない、とさえ言いたいほどである。見はるかす山々の向こうに夕日が静かに沈んでゆくかのような冒頭。もうここで一気に引き込まれるが、この夕日、ドとソからなる金管楽器の信号は、このあともさまざな和音や旋律を伴って回帰する。ハ長調の中心、ドの音は、あちらの呼び名でいえばC。シューマンの妻、クララの頭文字もCだ。

ところが、この第2番が、なかなか演奏されない。いや、そもそもシューマンの交響曲全体が、どうも疎んじれらてはいまいか。いわく、響きが渋すぎるとか、チケットが売れないとか。そんななか、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団が全4曲を続けざまに聴かせてくれるという。あのドレスデンが、である。

シューマンといえばライプツィヒでは？と思われた方。たしかに、ライプツィヒでの交響曲第1番《春》の初演でもって、シューマンは第一級の作曲家として認められた。新妻クララとの生活も、新しい段階に入った。けれどもその後、一家はドレスデンに移り住んでいるのである。これが1844年の暮れ。第2番は、その翌年から翌々年にかけて――精神の危機を乗り越えつつ――書かれた作品だ。

シューマンにドレスデンのイメージがあまりないのは、この地の名門、宮廷歌劇場管弦楽団に、当時ワーグナーが指揮者として君臨していたからかもしれない。しかし、シューマンに音楽上の新たな知見を与えたのも、同じ宮廷歌劇場管弦楽団、すなわち現在のドレスデン国立歌劇場管弦楽団だったのである。首席奏者らが、新作の室内楽を演奏してくれたし、《ファウストからの情景》（部分）を初演した折には、シューマンみずから同団の指揮台に上がった。その後、1850年にデュッセルドルフに移ってから書いた交響曲第3番《ライン》には、こうした経験が活かされているはずだ。そして第4番にも。元はライプツィヒ時代の交響曲だが、このとき大幅に書きかえられた。今回もこちらの改訂版で聴く。

同団の現首席指揮者、クリスティアン・ティーレマンが、楽団創立470周年にあたる今年、得意のワーグナーではなく、あえてシューマンを携えてくる。その意気やよし。彼はレコーディング初期の頃、シューマンに集中的に取り組んでいた。功成り名を遂げた今、どう聞かせてくれるか。その点も楽しみである。

クリスティアン・ティーレマン

〔ドレスデン国立歌劇場管弦楽団首席指揮者〕

Christian Thielemann, Chefdirigent

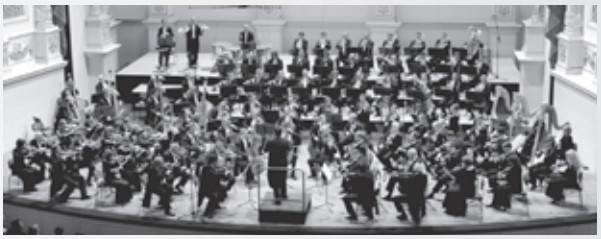
ベルリン生まれ。1978年、ベルリン・ドイツ・オペラのコレペティートアに採用され、この頃より指揮者としてのキャリアをスタートさせた。その後カラヤンとの交流も深まり、また、ベルリン・ドイツ・オペラでバレンボイムのアシスタントも務めた。

1982年よりゲルゼンキルヒェン歌劇場、カールスルーエ・バーデン州立劇場、ニーダーザクセン州立劇場にて経験を積み、1985年にデュッセルドルフ・ライン歌劇場の首席指揮者、1988年ニュルンベルク州立劇場の音楽総監督に就任。

1991年「ローエングリン」を指揮してベルリン・ドイツ・オペラにデビューし、1993年にはカルロス・クライバーの代役として「ばらの騎士」を指揮してメトロポリタン歌劇場にデビュー。

1995年にはドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、多くのCDやDVDをリリース。

1997年ベルリン・ドイツ・オペラ音楽総監督、2000年バイロイト音楽祭に「ニュルンベルクのマイスタージンガー」を指揮してデビュー。2004年ミュンヘン・フィル音楽総監督を経て、2012年夏よりシュターツカペレ・ドレスデンの首席指揮者に就任。2013年ザルツブルク・イースター音楽祭の芸術監督に就任。ロンドンの王立音楽院の名誉会員、ワイマールのリスト音楽院及びベルギーのルーベン・カトリック大学より名誉博士号を授与されている。



ドレスデン国立歌劇場管弦楽団

（シュターツカペレ・ドレスデン）

Staatskapelle Dresden

1548年にザクセン選帝侯の宮廷楽団として設立。470年の歴史を持つ、世界的に最も古い歴史と伝統を誇るオーケストラの一つ。

17世紀のシュッツ、19世紀のウェーバー、ワーグナー、20世紀のR.シュトラウスに至るまで、重要な作曲家がこのオーケストラと関係を築いてきた。ワーグナーは宮廷楽長をつとめ、この楽団を“奇跡とも呼べるハープ”と称し、その在任中に「タンホイザー」を初演。また、R.シュトラウスの「サロメ」、「エレクトラ」、「ばらの騎士」、「アルプス交響曲」等を初演したオーケストラとしても音楽史に名を残している。

20世紀には、ベーム、コンヴィチュニー、ケンペ、カラヤン、クライバー、ブロムシュテット、シノーポリ、ハイティンク等錚々たる顔ぶれの指揮者がその指揮台に立った。

初来日は1973年。2007年ルイジがドレスデン国立歌劇場の音楽総監督に就任。その後2012年夏、ティーレマンが首席指揮者に就任し、今日に至っている。

《特別割引チケットのお知らせ》（ジャパン・アーツぴあコールセンター 及び WEBジャパン・アーツぴあで受付）

●**学生席**（各ランクの半額）

※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。公演当日入口または窓口にて学生証を拝見させて頂きます。（学生証がない場合は一般料金との差額を頂戴いたします。）ジャパン・アーツ夢倶楽部会員の方で学生の方も、学生席及び学生間近割引は上記の価格です。

●**シニア割引**＝65歳以上の方はS席とA席を会員料金でお求めいただけます。

●**車椅子の方**は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にお申し込みください。（ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付）

次のことをご了承の上、チケットをお求めください。

①やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。②お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。また、いかなる場合も再発行はできません。紛失等には十分ご注意下さい。③ 演奏中は入場できません。④ 未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学児以上の方もご入場には１人１枚チケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑦ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

Twitterでフォローする
@japan_arts